

ホープみやぎ

～東日本大震災復興支援プロジェクト～

ニュースレター No.10
2015年 夏号
塩釜聖書バプテスト教会



バプテスマ式 (p2「証し」参照)



チャリティコンサート「ファミリークリスマス2014」



巨理キッズクラブ

野の島支援 (ホィートン大学) ↓



竹下静さんコンサート



援農プロジェクト(ノースウェスタン大学)



「いのちのパン」設立総会

代表からひとこと

3.11 大震災から、今年で5年目となりました。ここまで私たちがこの支援の働きを続けてくる事が出来たのは、ひとえに皆様のご支援とご協力、そして祈りがあったからに他なりません。本当に感謝しております。

私たちは、この5年目をひとつの区切りとして考えています。今年度は、行政の指導のもと、ほとんどの仮設住宅入居者が、災害公営住宅など他の場所に引越しをしなければなりません。それに伴い、私たちが毎月続けて来た約10カ所で仮設住宅訪問も今年度中に終了することになります。来年度からは、これまでの仮設住

宅訪問の代わりに、現在毎月行っている30箇所のフードバンク戸別訪問を50箇所程度に拡大し、毎月食料品や日用品をお配りしながらケアを続けていきたいと思っています。

事業拡大に伴い、今後更なる食料品と援助を受ける為に、私たちはホープみやぎのフードバンク部門をNPO法化することに決め、名称を『いのちのパン-Bread of Life』(菅原陸郎代表)とし、去る4月26日に設立総会を行いました。法人化取得のための書類は所轄庁に提出済みで、10月上旬には認可がおりる予定です。

フードバンクで支援を受け取っておられる方の中には、

「たとえ食料の支援がなくなったとしても、今後も毎月訪問して欲しい」と言って下さる方々がいらっしゃいます。支援とは、つまるところ人と人がつながることなのだ、最近では強く思われています。今後も私たちはフードバンクを通して、被災地の人々とつながり続けていきたいと思えます。

主の恵みに感謝しつつ。

(ホープみやぎ代表 大友幸証)

「家の教会」ニュース

・亘理地区(向後夫妻より)

6月でほとんどの方が仮設から公営住宅や戸建ての家に引っ越しをされ、亘理のある仮設住宅では世帯数が100から17世帯に減り、みなさん新しい場所で生活を始めておられます。人数が減って寂しいですが、事前に引っ越しアンケートで新しい住所やおひとりおひとりの必要を伺いました。今年秋からも今まで通り、同窓会のように引っ越し先から集まって下さる方のために毎月のイベントや訪問を続けたいと思っています。引っ越し先でも、今までとは違う新たな問題や悩みがあるようで、これからは個人的な関わりのための訪問や傾聴の必要を感じています。与えられた出会いをこれからも大切にイエスさまの愛をお届けしていけるように祈りつつ期待しています。6月から家の教会でキッズプログラムが始まり、ご近所から10名の子供たちが集まりました。2ヶ月に1回行う予定です。

・仙台港南地区(大友恒雄夫妻より)

震災以来サマリタンズ・パースの修繕プログラムを受け、たくさんのボランティアさんが関わって下さった O さんがバプテスマに導かれ、祝福の中で神の家族に迎えられました。これからは多くの励ましや応援、お祈りが必要です。ぜひお祈り下さい。

6月から家の教会では「お茶っ子たいむ」が始まり、ご近所から13名の方が来て下さいました。このカフェの目的は近隣の方々との関わりをもつために、無料でカフェスペースを開放するというものです。

若林区仮設集会所でのイベントを毎月続けています。自宅に戻られた方も多くおられて、イベントのたびにポスティングするチラシの数も減ってきています。これからは寄り添い、励まし支えるお手伝いを続けていきたいと思

っています。援農プロジェクト(被災農家手伝い)では畑のお手伝いを続けています。継続的に関わって下さっているボランティアの方々に感謝しております。

バプテスマの証し (仙台市若林区 O さん)

私は小さい時から日本の宗教文化の中で暮らし、季節ごとに神社や寺に行くのが当たり前の様に過ごし、お願いしたり先祖の供養をしていました。

普通の会社に就職し順風満帆で毎日が忙しくも充実し、明るく楽しい平和で家族仲良く暮らして、夢や希望に溢れていました。経済的にも恵まれていて毎晩国分町で数軒はしごし、毎年海外旅行をし、新車も購入して自己中心な生活をしていました。

しかし、東日本大震災で幸せな人生が激変しました。津波で最愛の両親を失いました。当初1週間は学校や病院等で両親の名前を血眼になって探し続けたが見つけれず、以後 45 日間遺体安置所で数百の遺体の顔を見て確認し続けました。その結果、母は棺の中に納まっていましたが、父はビニール袋に納まった姿で悲しすぎる対面をせざるを得ませんでした。茫然自失でしょうか、喪失感でしょうか、涙が出ることは全くありませんでした。絶望的な日本から海外へ渡りこの出来事から逃れようと思いました。しかし、心のダメージは回復せず無気力な状態が続きました。

そんな中、親が建てた家の修理修繕を始めました。ある日一人で作業している時、恒雄さんと栗山豊さん(現ホープみやぎスタッフ)が訪問し、サマリタンズ・パースの津波無料修繕を受けませんかと尋ねられ、これがイエス様との出会いとなりました。お二人は落ち込んでいた私に献身的に接してくれました。一般的なボランティアさんは大体一度きりで継続しませんが、お二人は違いました。他のメンバーと一緒にあって私を励め、励まし、食事や掃除や温泉にまで連れて行ってくれています。今でもそうです。親でも親戚でもないのに、何故そこまでしてくれるのか不思議でなりません。又、M さん(2013.12 支援を通してバプテスマ)のように自分も変わりたいという思いが湧き上がり、キリスト教に関心を持つようになり、3 月に四日間聖書の集中講義を受けて、自分がいかに自己中心的で罪の固まりのような滅茶苦茶な人生を送って来たのが分かってきまし

た。罪があるのを認めます。今まで”自己中心”が心の王座に座っていましたが”イエス様”に変えました。イエス様が身代わりになって死んで下さった事を受け入れて信じました。そして恒雄さんと栗山さんの四人でお祈りしました。

それ以来私は変わりました。無気力で無関心で酒好きな私は今では積極的にボランティア活動をし、私より困っている人を助けたいと思っています。最近周囲の人から”変わったね”と言われ、希望に溢れた生活が出来るようになりました。

「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には神の子どもとされる特権をお与えになった。」
(ヨハネ 1 章 12 節)

(2015.6.21 多賀城エクレシアにてバプテスマ)

地域との関わり

・桜木地区(多賀城市)

桜木では震災以来の関わりを継続して毎週火曜日夕方に地元の公園にボランティアさんや有志の方々を顔を出して、子どもたちと遊ぶ時間(桜木すまいる)をもっています。短い時間ですが継続な関わりに感謝されています。先日は団地の草取りのお手伝いをしてきました。教会の夏のプログラムに多数の桜木の子どもたちが参加します。

・塩釜市

野々島(浦戸諸島)にて、津波被害に遭った場所に菜の花を植えるお手伝いも始めました。NPO 法人 Hi-Five は、もともと観光地であった植物園を復興するために活動しており、その働きにボランティアを派遣しています。

・七ヶ浜町

松ヶ浜地区公営住宅が出来上がり、松ヶ浜に戻られる方は引っ越しが終わり、新しい場所で落ち着いた生活を始められています。戸建ての家が並ぶ高台への移転は決まっていますが、まだ工事が始まらないため引っ越しは来年になる方もいらっしゃいます。ホープみやぎでは今年いっぱい今まで通り集会所に顔を出し、毎月イベントを続けます。更に個人的なつながりを大事にしていきたいと願っています。仮設住宅サポートセンターのスタッフさんからも個人的繋がりの中で、引っ越し先にも顔を

出してあげてほしいとお話をいただきました。今年に入ってから七ヶ浜仮設で知り合った方々が教会に気軽に顔を出して下さいます。個人的なつながりの大切さを感じています。これからもみなさんのお祈りの傘の中で活動をつづけます。(ヒロミ)

フードバンク NPO 法人化について

巻頭言「代表からひとこと」にありました通り、フードバンク部門を法人化申請中です。法人化するにあたり、これまで協力をいただいていたみやぎ生協からの食糧の提供をこれからは受けることができません。そのため、物資の確保と管理、配布に至るまで、ホープみやぎ独自にこれまでの働きを拡大する必要があります。なかでも、支援物資を調達するために協力企業や個人を開拓してゆく予定です。ぜひ、これまでのホープみやぎの働きに賛同していただき、協力の可能性のある企業の情報をお持ちの方はお知らせください。

会員募集要項など、詳しいお知らせは次号ニュースレター(2015 年秋)にてお知らせいたします。

あなたも「ホープみやぎファミリー」に加わりませんか？

「ホープみやぎ」は塩釜聖書バプテスト教会内にあるソーシャルミニストリーの働きのひとつです。東日本大震災直後、被災した地域に出て行って、復興支援を行っています。なかでも教会メンバーで被災した人たちや、教会の近隣の地域(仙台市、多賀城市、亘理町、七ヶ浜町、東松島市、石巻市)を中心に活動しています。人間は神のかたちにつくられ、健全に生きるためには物質的(フードバンクなど物的支援)、感情的(コミュニティの回復などイベントを通しての交流)、知的(支援を受けるために必要な情報など)、霊的な必要(福音の提供)を満たすことが不可欠であることを信じ、そのために必要な支援活動を行うよう努めています。また、この働きは私たちのみで行うよりも、神様が志を与えてくださった方すべてを「ファミリー」として迎え、あらゆるかたちで協力するようにしています。最近では、支援活動などの働きで関わってきた、支援を受ける側だった方も、ホープみやぎとともに支援する側にまわってくださる人もおこされています。受ける側でも与える側でも、この働きを通してキリストの愛を伝えるきっかけになればと考えています。

「ホープみやぎファミリー」として支援の方法

- ① 祈り
- ② ボランティアとして参加
- ③ 物資の献品や献金

引き続き、ボランティアを募集しています。仮設訪問ができる方、お問い合わせください。

ボランティア・ホープハウス宿泊のお申込みについて

ホープハウス宿泊のお申込みは、希望する日程の一月前までにご連絡くださるようお願いいたします。直前のお申込みの場合、ご希望に添えない場合がございます。お申込みはお電話、FAX、Eメールでお待ちしております。①氏名(ボランティアする方すべて) ②人数(男女比) ③日程 ④ホープハウス使用の有無 ⑤ボランティアできる内容(例:肉体力労働、音楽、手芸など) ⑥連絡先をお知らせください。

※ホープハウスにはチェックイン・チェックアウトの時間がございます。また、原則として日・月曜日にはボランティアの受け入れはいたしません。

週末保養プロジェクト

私たちのボランティアセンター「ホープハウス」の宿泊所を、放射線量の低い地域で数日過ごしたいと考えておられる方々に無料でお使いいただいております。ぜひお問い合わせください。

支援物資のお願い

みなさまからお送り頂いた支援物資は「ホープみやぎ」関係者が直接被災地へお配りしています。また、各種イベント、戸別訪問時にも励ましのために用います。現在、みなさんに喜ばれる物資のリストは以下の通りです。

- ・ お米(5キロ以下の袋)
- ・ 醤油や砂糖みそなど調味料
- ・ 季節の食品、野菜など

ホームページのご案内

www.hopemiyagi.org

「ホープみやぎ」のホームページではスタッフが更新するブログや最新の写真や動画がご覧いただけます。このニューズレターと一緒にご覧いただければ、さらにこの働きを身近に感じていただけると願っています。ぜひ遊びに

いらしてください。

フェイスブック コミュニティ「hope miyagi」でボランティアの募集時期、内容(仮設住宅訪問など)、日々の支援活動報告など最新情報がアップデートされています！ぜひ、ご参加下さい。

ラジオ番組「ゴスペルの力」

被災地でのクリスチャンラジオ、好評放送中です！被災地におられる方にお知らせください！

宮城県の放送

仙台 FM76.2 月～金 午後2時、午後9時

塩釜 FM78.1 月～金 午後3時、午後9時30分

過去のメッセージはこちらから www.twr-jp.com

※ホープみやぎ代表のメッセージが聞けます。証しはこちら、<http://www.twr.asia/blog/god-will-provide>

～証しのページより～

「神は与えてくださる」

ある日、宮城県在住のOさんは、聞きなれないラジオ番組が流れてくるのに気がついた。はじめは番組の内容がわからずに落胆したが、ラジオから流れてくる牧師の証し「神がどのようにして時にかなって彼の必要にこたえてくれたのか」というメッセージに心を奪われた。「神はすべて、必要なものを与えてくださる。」これが、私の生きる力になっています。

そう話すOさんは50代の男性だ。Oさんはキリスト教系の大学で4年間学んだ経歴があるが、このラジオ番組「ゴスペルの力」(トランスワールドラジオ制作、以下TWR)に出会うまでは、大学で学んだキリスト教について理解ができなかったという。

日本におけるメディアミニストリーにおいては、リスナーの声が作り手に届けられるのはまれだ。Oさんがあの日聞いたというメッセージを語ったのは、大友牧師(ホープみやぎ代表)であったが、実はこのふたりはジムでトレーニングをするトレーニング仲間であった。牧師はOさんを自分の教会に招いて、ラジオ番組スタッフである私たちに引き合わせてくれたのだ。リスナーとの直接コンタクトをとることが難しい日本において、この出来事に私たちTWRスタッフがどれだけ驚いたか想像していただけるだろう。

Oさんは、2011年日本の東北を襲った津波ですべてを失っていた。「震災の後、我が家は全壊。すべてを失

いました。」Oさんの家の枠組みは残ったものの、4メートルの津波が家を飲み込んだ。水に浸った家財道具はすべて処分し、2014年11月新居を建てることとなった。「すべてを失ったけれど、乏しいことはないです。神様がすべて与えてくださいますから。」とOさんは語る。

津波の後、TWR スタッフは現地で津波被害から生き残った人たちに希望を分かち合う機会に恵まれた。TWR ジャパンは、ラジオ番組「シーズンオブホープ」を立ち上げ、長期間に建って被災者の方々に関わり続けてきた。(Oさんはラジオ番組を聞いた後、イエスキリストを救い主として受け入れました。)

お願い

「ホープみやぎ」ニュースレターは2ヶ国語で発行され、Eメールでお送りすることもできます。ご希望の方がいらっしゃれば、オフィスまでご連絡下さいますようお願いいたします。

※ニュースレターを郵送させていただく際、住所が変更されていて返送されてくることがあります。住所が変わられた場合、又はニュースレターが不要な方はお手数ですがオフィスまでご一報ください。

祈りの課題

- 1.仮設住宅から出て、復興住宅や再建した家に行かれる方々に、新しい場所で良いコミュニティが与えられるように。
- 2.フードバンクNPO「いのちのパン」の働きが拡大して、必要な倉庫も与えられて、多くの人々に食べ物と共にキリストの愛が運ばれていくように。
- 3.亘理、仙台港南、七ヶ浜、石巻、多賀城の各地で働いているホープみやぎスタッフ、そしてコーディネーターの高橋寛実の健康が支えられるように。
- 4.この働きを通して、主イエス・キリストを受け入れる方々が起こされていくように。
- 5.働き人が引き続き与えられていくように。
- 6.今後、国内外から来るボランティアチームの祝福(現在の所、12月まで5チーム)
- 7.大友幸一牧師が代表を務める、「宮城宣教ネットワーク」の働きが祝福されて被災各地において教会が生まれていくように。
- 8.来年度の以降のホープみやぎの方向性の導き。

連絡先

【ホープみやぎ】

(塩釜聖書バプテスト教会復興支援プロジェクト)

代表 大友幸証(おおともゆきまさ)

所在地&支援物資送付先:

985-0831 宮城県多賀城市笠神 2-11-45

TEL:022-362-7468 FAX:022-362-7497

連絡先:

contact@hopemiyagi.org

ホームページ:

<http://www.hopemiyagi.org>

証し、写真など、二ヶ国語でご覧になれます。

支援金送金:

郵便振替の場合

02280-8-7239

塩釜聖書バプテスト教会

備考欄に「復興支援」とご記入下さい。

銀行振込の場合

ゆうちょ銀行

二二九店(229) 当座0007239

塩釜聖書バプテスト教会

又は

七十七銀行(下馬支店)

店コード307 口座番号9062726

塩釜聖書バプテスト教会

代表役員 大友幸一

支援金の使い道:

支援物資の購入(食料品、衣料品、生活用品など)、支援活動に必要な備品の購入、被災者への義援金、キッズミニストリー、専属スタッフへの謝礼、ボランティアセンター管理費、交通費、その他復興支援活動全般のため。必要な場合、領収書を発行致します。

支援・協力を受けたみなさま (2014年11月-2015年6月まで)

Thank you for your supports! (November 2014 - June 2015)

個人名 (日本国内) Individuals in Japan

相原明・都子/伊藤雅弘・清美/岩渕まこと/岩間恵・寛子/上野望/遠藤茂雄・清子/大場孝子/大宮香織/金子耕式/川崎廣/小坂忠
/小林高徳・宮子/坂本みちゑ/佐藤将司・涼子/宋戸信子/須賀庸子/鈴木恵美子/鈴木雅子/高石しのぶ/竹下静/田中牧子/
福永操/藤田美千代/前田秀文/水野成俊/森祐理/門間裕美子/山口俊郎/匿名

団体名 (日本国内) Churches and Organization in Japan

DRCnet/IGL 広島福音教会/アクアゆめくらぶ/アジアアクセス/アネモネ/宇都宮聖書バプテスト教会/浦添聖書バプテスト教会
/大阪インターナショナルチャーチ/大阪城東福音教会/小山バプテスト教会/柏オールソウルズゴスペルクワイヤ/勝田聖書教会
/関西聖書学院/キッコートキワ鎌田醤油株式会社/清瀬グレースチャペル/久留米キリスト教会/グレースミッション東北/
ゴスペルファミリー/サマリタンズ・パース/サンタプロジェクト九州/主都福音キリスト教会/湘南のぞみキリスト教会/昭和町キリスト教会
/精華キリスト教会/センド国際宣教団/高松シオン教会/田原支援ネット/東北応援団 LOVE EAST/日本キリスト改革派東仙台教会/
日本国際飢餓対策機構/のぞみセンター/福岡ハーベストチャーチ/ブリーネ祈りの家/ブリッジス・フォー・ピース/保守バプテスト
津田沼教会/保守バプテスト同盟/保守バプテスト日本宣教団/みやぎ生活協同組合コープフードバンク/ミヨシ石鹸株式会社/
武蔵台キリスト福音教会/洛陽バプテスト教会(青木友邦先生)/レインボーチャペル港北

海外 Supporters from Overseas

Abundant Life Church, Portland, OG / Asian Access / Bonnie Palma, Woodstock GA / Carlie Schriever, Happy Valley OG
/ Christ Centered Community Church, HI / Dianne Striefel, Gladstone, OG / Jireh Fund Limited /
Melissa Kamakwiwoole / Naoko Tuzi / Northwestern University, MN / Samaritan's Purse / SEND / Song Solnamoo /
Trans World Radio / Wheaton College / Willingdon Church / 財団法人台北基督徒南京東路礼拝堂, Hong Kong /
中村佐知/ニュージーランドクライストチャーチ日本人教会/バンクーバー日系人教会

(敬称略)

毎月醤油とお味噌の支援を受けています。家庭菜園で栽培されたお野菜も送っていただきました。毎月仮設集会所で行われるイベントや個人訪問でお配りしています。みなさん喜んで受けとって下さいます。継続してのご支援に心から感謝しております。

ご支援、ご協力ありがとうございました。

We appreciate your supports very much.

※海外からの送金の場合は「ホープみやぎ」ホームページをご覧ください。